



# Saitama Rugby School Magazine

2012年1月23日 No.10  
発行責任者 栗原 稔  
編集 スクール部会広報

## Head Line

- ★深谷トリニタス 初の運動会・食事会を開催
- ★ふくじゅ草 恒例の「餅つき大会」
- ★川口のリリースストレッチクラブ紹介
- ★スクールJr選抜の監督・池田 宏に聞く

## 深谷トリニタスジュニア RFC 初の運動会・食事会を開催

2011年12月25

日(日)、深谷櫛挽ヶ原ラグビー場で「第1回深谷トリニタスジュニアRFC運動会・食事会」が開催されました。



2010年4月の開校から2年目のシーズン!

ここで、チームの所属感をさらに図るため、不惑(オーバー35)・保護者・スタッフ等が一同に介し、運動会種目やタグラグビーを通して交流を深めることを狙いに開催しました。

当日は天候にも恵まれ、運動会に参加した約70人が、児童・保護者の混合チームに分かれ①玉入れ②障害物リレー(キャタピラー、片栗粉の中にある飴探し等)③棒取り合戦④ラグビーボールリレー⑤ヘッドキャップ騎馬戦——の5種目を行いました。当日発表のチーム編成でしたが、スタート時は少し緊張気味だったものの、種目が始まると各チームとも助け合ったりする姿も見られるなど、とても温かな雰囲気の中での運動会でした。また、児童からは「みんなと協力し最後までやり抜いたことで達成感を味わうことができ、とても楽しかったです」との感想も。



運動会後は、児童対保護者・不惑のタグラグビーの試合を行いました。保護者・不惑チームの方は、開始1分ほどは全力で走り回りトライをとれましたが、さすがに7分間はきつかったようで、反対に子供たちにトライを量産され、その時の悔しそうな表情を見て、子供たちはとても嬉しそうでした。

表情を見て、子供たちはとても嬉しそうでした。

食事会では、重たい杵を持ち、みんなで声を掛け合いながら餅をつきました。頑張ってついた餅の味は格別なものだったでしょう。また、お母さん方が作った深谷名物「煮ぼうとう」の味がとても美味しく、子供たちは何杯もおかわりをしていました。

今回、初めての企画でしたが児童や保護者の皆様方からたくさんの感謝のお言葉を頂きました。

今後も様々な交流等を通し、また日々の練習に精進していくことが、さらなる発展につながるのではないかと思います。(深谷トリニタスジュニア 田村)

## 恒例行事「餅つき」大会を開催 草加RSを招待しての交流会

1月15日に草加ラグビースクールさんをお迎えして、ふくじゅ草の恒例行事の餅つき大会が開催されました。



好天に恵まれましたが、その分冷え込みも強く、凍った地面と冷たい風が吹く一日でした。そんな、寒い中、早朝から保護者と指導者が力を合わせて準備をし、大量の餅米を蒸して臼と杵でつき、お雑煮、きなこ、あんこ、醤油とさまざまな味のついたてのお餅をみんなで食べます。

子供達は、準備ができるまで、お餅を食べた後、



練習したりミニゲームをしたりして、ラグビーとお餅をとことん楽しんだ一日でした。

(ふくじゅ草 長谷川)

## 川口 RS のお母さんチーム「ハニーズ」 小学校でタグラグビーの出張授業



ハニーズは、川口RSのお母さんたちを中心に美容と健康&コミュニケーションを目的として8年前に発足したタッチラグビーチームです。

「家族でラグビー」をモットーとして川口の総合型地域スポーツクラブ「リリー・アスレチック・クラブ」に川口RS、パパさんたちのダーリンズと共に所属しています。現在部員15名、もちろん全員未経験者です。平均年齢？歳、監督とコーチ3名という体制で、スクールと同じ時間帯に練習をしますが、練習ばかりでなくメディカルやストレッチの勉強、染物教室や食育教室などの文化的研修、プチ哲学までと、多岐にわたる活動を続けています。

また、地域貢献も欠かしません、川口地区の小学校に川口ラグビー協会の強力助っ人としてタグラグビーの出張授業を行っています。子供たちにも大変好評で興味を示す先生方や学校がずいぶん増えました。もし、グラウンド脇で寒そうに子供を見つめているママさんがいたらぜひ「ハニーズしようよ！」と声をかけてみてはどうでしょうか。

## 「川口ダーリンズ」 発展途上の父兄チーム75名

川口ダーリンズは、川口RSの父兄を中心にスクール誕生から3年後の2000年にチームが発足しました。

スクールでは、子供が入校して初めてラグビーに興味を持ったという父兄も多く、そのままコーチとなりダーリンズにも参加するケースが多いこともあってメンバーが増えてきました。ただ、行政の協力を得て地域に定期的に使用できるグラウンドが確保できたこと、もちろんメンバーやそのご家族の協力も見逃せません。まだまだ発展途上ですが、これからも challenge with a smile.です。



2012年1月14日現在 メンバー登録者総数75名 平均年齢47歳。(川口ダーリンズ 長谷川)

## 全員で夢を追いかける U15 東日本代表として花園へ スクールJr選抜の監督 池田 宏(浦和RS)



2012年度は、より充実した活動へ向けて試合形式を前提に皆でラグビーができる環境をより拡大させたいと考えている。そのために①試合機会増加と生徒達への事前告知、周知徹底し、合同練習(大勢集まるチャンス)をつくる②立教新座G、セコムG等交流機会の場を最大活用する③近隣県の強いチームの胸を借り、試合を通じてチームを強化する(コミュニケーションは必然的に高まる)——の目標を掲げている。

また、スタッフの役割分担をより明確にし、主務担当(仮称)の新設(対外折衝、対戦グラウンド等の日程調整、確保)や高い経験値、指導スキルを持つテクニカルコーチの埼玉Jrへの参画を進めたい。さらにパス、ラン、基本姿勢(スクラム、タックル)、デイフェンスの立つ位置、追い方などを統一するなど、埼玉Jr合同で行う練習、各スクールが通常時で習得すべきスキルを明確化させる。

スクールJr選抜の監督として、生徒達全員と共に、一段高い目標(秋の東日本大会ベスト4入・花園出場)にチャレンジし、全員で夢を追いかけて、生徒達のラグーマンとしての心と身体の成長、各々の自立を促進できるようにスタッフ一同、全力で導き、サポートしていけたらと思っている。埼玉スクールJrチームの活動を通じて、一人でも多くの生徒達が、ラグビーを通して、プレーのみならず、人間的成長を果たし、高校入学以降もラグビーを継続し更なる飛躍をしてくれることを願って止まない。